

春爛漫・京都の旅（バスツアー組報告）

御所公開と哲学の道

今年のミンク歩こう会は「京都」、新幹線組とバスツアー組と2班に分かれての実施となりました。これはその後半、2006年4月7日（金）のバスツアー組の報告です。

ツアー名は読売旅行の「京都御

所・春の一般公開と桜並木の哲学

の道」です。林原駐車場発が7時20分、途中山陽町（おっと今は赤磐市）上市によって、京都に着いたのが11時前。この時期にしてはスムーズでした。

空は青空、桜は満開

というまことにいい雰囲気、メンバーは行きのバスの中で幸せをかみ締めながらの旅となりました。「最近の日本はなんでこんなに桜ばかりふえたんだらう？」道々に見える満開の桜に贅沢な疑問も呈

したり、「運転しないというのはこんなに楽なんじゃなく」としみじみおっしゃる方まで。バスの中は朝から盛り上がったのであります。

ぞろぞろと歩きました

京都御所公開はとにかく大勢の人でした。ぞろぞろと人並みについていくのが



精一杯。メンバーには初めての人もいましたが、何回かの経験者も。

紫宸殿（正殿）、清凉殿、御常御殿（天皇の日常の住まいだった）・・・そして2つの庭。中国や韓国のように絢爛豪華という感じはありませんでしたが、しつとりと落着いた感じを受けました。



また格別でしたね。

今日が一番のお楽しみのお弁当。まずまずではありましたが、でも駐車場近くの土産店での漬物の試食も

桜も人も、超超満開

バスは市東北部にある銀閣寺駐車場に。ここからは京都疎水に沿って、哲学の道をたどるのです。満開の桜を前にパチリとシャッター



を押したり、「あ、美人・・・」なんて思う間もありません。人、人、人・・・人並みを縫って縫って・・・南禅寺に到着したときには、もう帰りの時間が迫っていました。

本当にお天気が良いのと満開の桜には、堪能させていただきました。手をつないで闊歩する若者たちにちよつとばかり嫉妬しながら、でも十分に春を堪能した一日でした。ありがとうございました。杉原尚示記

